

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：有
新規 2社（社名）CATERHAM CARS GROUP LIMITED、CATERHAM CARS LIMITED、除外 1社（社名）

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更

- ① IFRSにより要求される会計方針の変更：無
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2022年3月期3Q	119,381,034株	2021年3月期	119,381,034株
② 期末自己株式数	2022年3月期3Q	3,393,364株	2021年3月期	4,026,580株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2022年3月期3Q	115,494,913株	2021年3月期3Q	116,231,763株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報（4）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) キャッシュ・フローの状況	3
(4) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 要約四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 要約四半期連結財政状態計算書	4
(2) 要約四半期連結損益計算書及び要約四半期連結包括利益計算書	6
(3) 要約四半期連結持分変動計算書	8
(4) 要約四半期連結キャッシュ・フロー計算書	10
(5) 要約四半期連結財務諸表に関する注記事項	12
(継続企業の前提に関する注記)	12
(重要な会計上の見積り及び見積りを伴う判断)	12
(セグメント情報)	13
(重要な後発事象)	14

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

文中の将来に関する事項は、当四半期連結会計期間の末日現在において当社グループ（当社及び連結子会社）が判断したものであります。

国内の新車販売台数は昨年度後半から第1四半期連結会計期間までは回復基調が継続していましたが、第2四半期連結会計期間以降は半導体や部品不足等による自動車メーカーの生産遅延や減産等の影響を受けたことにより前年割れが続く、当第3四半期連結累計期間では前年同期比93.5%となりました。

そのような環境の下、当社グループの中核事業であります自動車販売関連事業の当第3四半期連結累計期間における国内販売の状況は、ホンダ系、日産系ともにメーカーの生産停滞による影響を受けつつも拡販に注力し、新型車を中心に販売が堅調に推移いたしました。また、海外におきましては、欧州の子会社がロックダウン等の措置の影響を受けていましたが、解除による反動増の動きも見られました。その結果、当社グループの新車、中古車を合わせた自動車販売台数は前年同期と比べ6,819台増加し69,280台（前年同期比110.9%）となりました。

住宅関連事業におきましては、新型コロナウイルス感染症の影響を大きく受けることなく、受注、引き渡しは好調に推移いたしました。

また、保有する持分法適用会社株式の一部を第1四半期連結会計期間に売却したことに伴い、その他の営業外損益を計上いたしました。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間の連結業績は、連結売上収益は1,722億97百万円（前年同期比124.6%）、営業利益は67億35百万円（前年同期比124.1%）、税引前四半期利益は143億97百万円（前年同期比266.1%）、親会社の所有者に帰属する四半期利益は96億18百万円（前年同期比284.7%）となりました。

セグメントの業績概況

[自動車販売関連事業]

新車部門では、国内におけるホンダ車の販売台数は5,205台（前年同期比125.3%）、日産車の販売台数は12,844台（前年同期比109.4%）となり、海外を含む当社グループ全体の自動車販売台数は33,242台（前年同期比113.7%）と前年を上回り、増収増益となりました。

中古車部門では、前期は荷動きが停滞していた輸出台数が5,310台（前年同期比131.9%）と回復し、国内・海外における中古車販売台数も海外を中心に大きく増加したことから、当社グループ全体の中古車販売台数は36,038台（前年同期比108.5%）と前年を上回り、また、中古車市況が好調に推移したことも重なり増収増益となりました。

サービス部門では、点検・車検、修理、手数料収入等の受注拡大に注力し、特に欧州の子会社の一時的な店舗閉鎖の解除も寄与し、増収増益となりました。

レンタカー部門では、外出自粛等の影響が緩和したことと、新車の納期遅れによる代車需要に支えられ、増収増益となりました。

以上の結果、自動車販売関連事業の売上収益は1,631億64百万円（前年同期比122.1%）、営業利益は56億14百万円（前年同期比141.3%）となりました。

[住宅関連事業]

分譲マンション事業では、分譲エリアを拡大し新しい顧客層を開拓することで受注・引き渡し共に概ね計画通りに推移しており、当第3四半期連結累計期間は新たに7棟219戸の新築マンションを分譲し、完成在庫をあわせ138戸（前年同期は150戸）を成約し、69戸（前年同期は38戸）を引き渡しました。

注文建築・戸建分譲事業では、前第2四半期連結会計期間末に連結子会社化した首都圏の戸建分譲事業が順調に推移し同事業の業容拡大に貢献いたしました。また、自動車ディーラーをはじめとする商業施設等の注文建築についても引き続き安定した受注を獲得することが出来ました。

以上の結果、住宅関連事業の売上収益は90億26百万円（前年同期比199.6%）、前年のM&Aに伴うその他の営業利益が今期は無いこともあり営業利益は6億63百万円（前年同期比60.0%）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末における総資産は1,815億24百万円となり、前連結会計年度末1,740億11百万円と比較し75億13百万円増加いたしました。流動資産は703億74百万円となり、28億73百万円減少いたしました。これは主に棚卸資産(47億3百万円)等が減少したほか、現金及び現金同等物(20億79百万円)等が増加したことによるものであります。非流動資産は1,111億50百万円となり、103億86百万円増加いたしました。これは主にその他の金融資産(104億56百万円)、有形固定資産(31億72百万円)等が増加したほか、持分法で会計処理されている投資(44億42百万円)等が減少したことによるものであります。

負債合計は1,284億83百万円となり、前連結会計年度末1,286億89百万円と比較し2億6百万円減少いたしました。流動負債は831億32百万円となり、24億46百万円減少いたしました。これは主に営業債務及びその他の債務(97億36百万円)、契約負債(21億94百万円)等が減少したほか、社債及び借入金(95億2百万円)等が増加したことによるものであります。非流動負債は453億51百万円となり、22億40百万円増加いたしました。これは主に繰延税金負債(19億60百万円)等が増加したことによるものであります。

資本合計は530億41百万円となり、前連結会計年度末453億22百万円と比較し77億19百万円増加いたしました。

(3) キャッシュ・フローの状況

当第3四半期連結会計期間末における連結ベースの現金及び現金同等物(以下「資金」という。)は、前連結会計年度末より20億79百万円増加し、112億73百万円となりました。当第3四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

イ 営業活動によるキャッシュ・フロー

営業活動の結果獲得した資金は52億23百万円(前年同期は55億35百万円の獲得)となりました。これは主に、税引前四半期利益、営業債務の減少、減価償却費及び償却費の計上、持分法適用除外に伴う再測定による利益の計上等によるものであります。

ロ 投資活動によるキャッシュ・フロー

投資活動の結果使用した資金は37億80百万円(前年同期は17億76百万円の使用)となりました。これは主に、有形固定資産の取得による支出、関連会社の売却による収入等によるものであります。

ハ 財務活動によるキャッシュ・フロー

財務活動の結果獲得した資金は6億22百万円(前年同期は49億41百万円の使用)となりました。これは主に、短期借入金の純増減額、長期借入れによる収入、リース負債の返済による支出、長期借入金の返済による支出等によるものであります。

(4) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2022年3月期 通期の連結業績予想につきましては、2021年8月13日付「業績予想の修正に関するお知らせ」から変更はありません。

2. 要約四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 要約四半期連結財政状態計算書

	前連結会計年度 (2021年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2021年12月31日)
	百万円	百万円
資産		
流動資産		
現金及び現金同等物	9,195	11,273
営業債権及びその他の債権	16,660	16,935
その他の金融資産	137	100
棚卸資産	42,475	37,772
その他の流動資産	4,781	4,294
流動資産合計	73,247	70,374
非流動資産		
有形固定資産	62,833	66,005
のれん	12,684	13,353
無形資産	956	1,099
投資不動産	6,616	7,233
持分法で会計処理されている投資	8,674	4,232
その他の金融資産	7,699	18,155
繰延税金資産	1,184	970
その他の非流動資産	116	101
非流動資産合計	100,763	111,150
資産合計	174,011	181,524

	前連結会計年度 (2021年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2021年12月31日)
	百万円	百万円
負債及び資本		
負債		
流動負債		
社債及び借入金	23,738	33,241
営業債務及びその他の債務	38,220	28,485
その他の金融負債	6,125	6,117
未払法人所得税等	1,191	1,093
契約負債	13,585	11,392
その他の流動負債	2,717	2,805
流動負債合計	85,577	83,132
非流動負債		
社債及び借入金	20,688	20,499
その他の金融負債	18,314	18,537
引当金	551	580
繰延税金負債	1,749	3,709
その他の非流動負債	1,809	2,027
非流動負債合計	43,111	45,351
負債合計	128,689	128,483
資本		
資本金	4,297	4,297
資本剰余金	2,842	2,975
自己株式	△1,028	△866
その他の資本の構成要素	874	977
利益剰余金	33,210	40,477
親会社の所有者に帰属する持分合計	40,195	47,860
非支配持分	5,127	5,181
資本合計	45,322	53,041
負債及び資本合計	174,011	181,524

(2) 要約四半期連結損益計算書及び要約四半期連結包括利益計算書
(要約四半期連結損益計算書)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)
	百万円	百万円
売上収益	138,239	172,297
売上原価	115,500	143,865
売上総利益	22,739	28,432
販売費及び一般管理費	19,515	21,889
その他の収益	2,282	392
その他の費用	80	199
営業利益	5,425	6,735
金融収益	217	207
金融費用	596	548
持分法による投資利益	363	185
その他の営業外損益	—	7,817
税引前四半期利益	5,409	14,397
法人所得税費用	1,409	4,408
四半期利益	4,000	9,988
四半期利益の帰属		
親会社の所有者	3,379	9,618
非支配持分	621	370
四半期利益	4,000	9,988
1株当たり四半期利益		
基本的1株当たり四半期利益(円)	29.07	83.28
希薄化後1株当たり四半期利益(円)	—	—

(要約四半期連結包括利益計算書)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)
	百万円	百万円
四半期利益	4,000	9,988
その他の包括利益		
純損益に振り替えられることのない項目		
その他の包括利益を通じて公正価値で測定する金融資産	482	73
持分法適用会社におけるその他の包括利益に対する持分	10	△1
純損益に振り替えられることのない項目合計	492	72
純損益に振り替えられる可能性のある項目		
在外営業活動体の換算差額	533	110
持分法適用会社におけるその他の包括利益に対する持分	△11	△6
純損益に振り替えられる可能性のある項目合計	522	104
税引後その他の包括利益	1,014	177
四半期包括利益	5,014	10,165
四半期包括利益の帰属		
親会社の所有者	4,364	9,794
非支配持分	650	371
四半期包括利益	5,014	10,165

(3) 要約四半期連結持分変動計算書

前第3四半期連結累計期間(自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)

親会社の所有者に帰属する持分

	資本金	資本剰余金	自己株式	その他の資本の構成要素	
				在外営業活動体の換算差額	新株予約権
				百万円	百万円
2020年4月1日時点の残高	4,297	2,847	△272	△283	137
四半期利益					
その他の包括利益				497	
四半期包括利益合計	—	—	—	497	—
自己株式の取得			△755		
新株予約権の失効		3			△3
利益剰余金への振替					
配当金					
所有者との取引額合計	—	3	△755	—	△3
2020年12月31日時点の残高	4,297	2,850	△1,028	214	134

親会社の所有者に帰属する持分

	その他の資本の構成要素					
	その他の包括利益を通じて公正価値で測定する金融資産	合計	利益剰余金	合計	非支配持分	合計
	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円
2020年4月1日時点の残高	—	△146	30,156	36,882	3,823	40,705
四半期利益		—	3,379	3,379	621	4,000
その他の包括利益	488	985		985	29	1,014
四半期包括利益合計	488	985	3,379	4,364	650	5,014
自己株式の取得		—		△755		△755
新株予約権の失効		△3		—		—
利益剰余金への振替	△488	△488	488	—		—
配当金		—	△2,327	△2,327	△45	△2,372
所有者との取引額合計	△488	△491	△1,839	△3,082	△45	△3,127
2020年12月31日時点の残高	—	348	31,696	38,163	4,428	42,592

当第3四半期連結累計期間(自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)

親会社の所有者に帰属する持分

	資本金	資本剰余金	自己株式	その他の資本の構成要素	
				在外営業活動体の換算差額	新株予約権
				百万円	百万円
2021年4月1日時点の残高	4,297	2,842	△1,028	740	134
四半期利益					
その他の包括利益				104	
四半期包括利益合計	—	—	—	104	—
連結範囲の変動					
支配継続子会社に対する持分変動		0			
新株予約権の失効		1			△1
利益剰余金への振替					
自己株式の処分		132	162		
配当金					
所有者との取引額合計	—	133	162	—	△1
2021年12月31日時点の残高	4,297	2,975	△866	845	133

親会社の所有者に帰属する持分

	その他の資本の構成要素					
	その他の包括利益を通じて公正価値で測定する金融資産	合計	利益剰余金	合計	非支配持分	合計
	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円
2021年4月1日時点の残高	—	874	33,210	40,195	5,127	45,322
四半期利益		—	9,618	9,618	370	9,988
その他の包括利益	72	176		176	1	177
四半期包括利益合計	72	176	9,618	9,794	371	10,165
連結範囲の変動		—		—	23	23
支配継続子会社に対する持分変動		—		0	△262	△262
新株予約権の失効		△1		—		—
利益剰余金への振替	△72	△72	72	—		—
自己株式の処分		—		293		293
配当金		—	△2,422	△2,422	△78	△2,500
所有者との取引額合計	△72	△73	△2,351	△2,129	△317	△2,446
2021年12月31日時点の残高	—	977	40,477	47,860	5,181	53,041

(4) 要約四半期連結キャッシュ・フロー計算書

	前第3四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)
	百万円	百万円
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期利益	5,409	14,397
減価償却費及び償却費	6,500	7,060
減損損失	—	8
負ののれん発生益	△1,185	—
受取利息及び受取配当金	△57	△152
支払利息	555	525
為替差損益 (△は益)	△151	△13
持分法による投資損益 (△は益)	△363	△185
持分法による投資の売却損益 (△は益)	—	△1,380
持分法適用除外に伴う再測定による利益	—	△6,436
固定資産売却損益 (△は益)	△223	10
固定資産除却損	2	16
営業債権の増減額 (△は増加)	499	△376
棚卸資産の増減額 (△は増加)	2,504	6,775
営業債務の増減額 (△は減少)	△6,373	△10,602
契約負債の増減額 (△は減少)	993	△2,761
未払消費税等の増減額 (△は減少)	565	705
その他	△830	477
小計	7,846	8,066
利息及び配当金の受取額	142	203
利息の支払額	△574	△525
法人所得税の支払額又は還付額 (△は支払)	△1,879	△2,521
営業活動によるキャッシュ・フロー	5,535	5,223
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△6	△40
定期預金の払戻による収入	—	11
有形固定資産の取得による支出	△4,261	△6,669
有形固定資産の売却による収入	2,116	1,493
無形資産の取得による支出	△52	△102
投資有価証券の取得による支出	—	△24
投資有価証券の売却による収入	13	9
子会社の取得による収支 (△は支出)	301	△737
関連会社の売却による収入	—	2,186
貸付けによる支出	△33	△8
貸付金の回収による収入	145	140
敷金及び保証金の差入による支出	△93	△92
敷金及び保証金の回収による収入	86	98
事業譲受による支出	—	△35
その他	6	△10
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,776	△3,780

	前第3四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)
	百万円	百万円
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額	△5,031	7,585
長期借入れによる収入	13,839	5,169
長期借入金の返済による支出	△6,085	△4,631
社債の償還による支出	△9	△5
非支配持分からの払込による収入	—	23
自己株式の取得による支出	△755	—
配当金の支払額	△2,327	△2,422
非支配持分への配当金の支払額	△45	△78
リース負債の返済による支出	△4,527	△5,018
その他	△1	△1
財務活動によるキャッシュ・フロー	△4,941	622
現金及び現金同等物に係る換算差額	161	14
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△1,020	2,079
現金及び現金同等物の期首残高	9,490	9,195
現金及び現金同等物の四半期末残高	8,469	11,273

(5) 要約四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(重要な会計上の見積り及び見積りを伴う判断)

IFRSに準拠した連結財務諸表の作成において、経営者は、会計方針の適用並びに資産、負債、収益及び費用の金額に影響を及ぼす判断、見積り及び仮定を行うことが要求されております。実際の業績は、これらの見積りとは異なる場合があります。

見積り及びその基礎となる仮定は継続して見直されます。会計上の見積りの見直しによる影響は、見積りを見直した会計期間及びそれ以降の将来の会計期間において認識されます。

要約四半期連結財務諸表の金額に重要な影響を与える見積り及び判断は、新型コロナウイルス感染症による影響も含めて、前連結会計年度に係る連結財務諸表と同様であります。

(セグメント情報)

(1) 報告セグメントごとの売上収益及び利益又は損失の金額に関する情報

前第3四半期連結累計期間(自2020年4月1日至2020年12月31日)

	報告セグメント		その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	連結
	自動車販売 関連事業	住宅関連 事業				
売上収益	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円
外部顧客への売上収益	133,589	4,522	128	138,239	—	138,239
セグメント間の内部売上収益又は振替高	59	611	1,070	1,740	△1,740	—
合計	133,648	5,133	1,198	139,979	△1,740	138,239
セグメント利益	3,973	1,105	385	5,463	△37	5,425
金融収益						217
金融費用						596
持分法による投資利益						363
税引前四半期利益						5,409

(注) 1. その他は、グループ全社管理部門等であります。

2. セグメント利益の調整額△37百万円は、セグメント間取引消去であります。

3. 住宅関連事業のセグメント利益には、株式会社TAKI HOUSEの株式取得による負ののれん発生益1,185百万円が含まれております。

当第3四半期連結累計期間(自2021年4月1日至2021年12月31日)

	報告セグメント		その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	連結
	自動車販売 関連事業	住宅関連 事業				
売上収益	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円
外部顧客への売上収益	163,164	9,026	106	172,297	—	172,297
セグメント間の内部売上収益又は振替高	64	1,183	1,294	2,542	△2,542	—
合計	163,229	10,209	1,400	174,838	△2,542	172,297
セグメント利益	5,614	663	537	6,814	△79	6,735
金融収益						207
金融費用						548
持分法による投資利益						185
その他の営業外損益						7,817
税引前四半期利益						14,397

(注) 1. その他は、グループ全社管理部門等であります。

2. セグメント利益の調整額△79百万円は、セグメント間取引消去であります。

(2) 製品及びサービスに関する情報

製品及びサービスごとの外部顧客に対する売上収益は以下のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)
	百万円	百万円
新車	68,463	84,405
中古車	33,462	43,002
サービス	25,453	28,304
レンタカー	6,001	7,237
住宅	4,522	9,026
その他	337	323
合計	138,239	172,297

(3) 地域別に関する情報

売上収益の地域別内訳は以下のとおりであります。

外部顧客への売上収益

	前第3四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)
	百万円	百万円
日本	87,326	103,074
アフリカ	2,390	4,822
北中南米	258	347
オセアニア	2,524	1,815
ヨーロッパ	44,901	59,937
アジア	840	2,301
合計	138,239	172,297

(注) 売上収益は、販売仕向先の所在地によっております。

(4) 主要な顧客に関する情報

外部顧客への売上収益のうち、要約四半期連結損益計算書の売上収益の10%以上を占める相手先がないため、記載を省略しております。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。